

贅 沢 貧 乏

わ か ろ う と は
お も っ て い る け ど

ZEITAKU BINBOU
“I’m Trying to Understand You, But”

Written and directed by Yuri Yamada, Music by Yuumi Kanemitsu
with Minami Ohba, Masayuki Yamamoto,
Mayu Sakuma, Konomi Otake, Sachiko Aoyama

作・演出：山田由梨
音楽：金光佑実



大場みなみ



山本雅幸



佐久間麻由



大竹このみ



青山祥子

2025年

12月13日（土）18：00開演

★ポストパフォーマンストーク

12月14日（日）13：30開演

※開場は開演の30分前 ※上演時間約70分

★12/13(土)終演後に山田由梨さんと文月悠光さん(詩人)によるトークがあります。

クリエイティブスタジオ

(札幌市民交流プラザ3階)

札幌市中央区北1条西1丁目

※札幌市営地下鉄大通駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結

<https://www.sapporo-community-plaza.jp/theater.html>

TICKETS (全席指定・税込)

前売券 一般／3,500円 U25／2,000円

当日券 一般／4,000円 U25／2,500円

※U25＝2000年以降にお生まれの方(未就学児除く)であれば学生に限らずご購入いただけます(オンラインでの購入可)。ご来場時に生年を証明できるものをお持ちください。生年を証明できない場合は一般料金との差額をお支払いいただく場合がございます。※車椅子でご来場予定のお客様は、北海道文化財団(TEL 011-272-0501)までご連絡ください。※未就学児童の入場はご遠慮ください。※チケットの払い戻し、観劇日時の変更はできません。※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はございませんので、あらかじめご了承ください。

○ SPECIAL TALK ○

池田亮(ゆうめい)×山田由梨(贅沢貧乏) スペシャルトーク

先着順・事前申込制

日時：2025年9月23日(火・祝) 13:00～14:00

会場：札幌市図書・情報館 1階サロ

(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ)

<https://haf.jp/> ※詳細は北海道文化財団ホームページをご覧ください。

プラザメンバーズ先行発売 9月26日(金)10:00～

【WEB会員限定】 札幌市民交流プラザメンバーズサイト
<https://sapporo-cp-members.jp/>

【DM会員限定】 札幌市民交流プラザチケットセンター
(札幌市民交流プラザ2階／10:00～18:00 水曜・休館日を除く)
道新プレイガイド TEL 0570-00-3871

(営業時間10:00～19:00 火曜定休)
(札幌市中央区南1西1-8-2
高桑ビルMARUZEN&ジュンク堂書店札幌店地下1階)

一般発売 10月3日(金)10:00～

札幌市民交流プラザメンバーズサイト チケットぴあ
<https://sapporo-cp-members.jp/> <https://w.pia.jp/> (Pコード:535-768)

札幌市民交流プラザチケットセンター ローソンチケット
(札幌市民交流プラザ2階／10:00～18:00 水曜・休館日を除く) <https://l-tike.com/> (Lコード:11747)

道新プレイガイド

<https://doshin-playguide.jp>

TEL 0570-00-3871

(営業時間10:00～19:00 火曜定休)

(札幌市中央区南1西1-8-2高桑ビル

MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店地下1階)

セイコーマート店内マルチコピー機

(セコマコード:D25121302)

※セイコーマートでの販売は公演日の7日間までになります。

お問合せ

チケットに関するお問合せ：

<https://www.ws-nt.jp/info/>

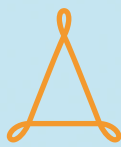


公演に関するお問い合わせ：
公益財団法人北海道文化財団
TEL 011-272-0501
(8:45-17:30 土日祝日除く)

主催：公益財団法人北海道文化財団 札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)
企画制作：贅沢貧乏／株式会社ation 制作協力：ダブルス 後援：北海道



札幌文化芸術劇場
hitaru
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
公益財団法人 北海道文化財団

わ か ろ う と は
お も っ て い る け ど

I'm
Trying to
Understand
You, But

贅 沢 貧 乏

2025.12.13 SAT, 12.14 SUN

クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ3階)

わ
か
ら
う
と
は
お
も
っ
て
い
る
け
ど

STORY

テル(大場みなみ)とこうちゃん(山本雅幸)はどこにでもいるような普通のカップル。
あるとき、テルが妊娠した、という出来事から空気が変わり始め、
テルの友達(佐久間麻由)やなぜか家にいる
メイドたち(大竹このみ・青山祥子)を巻き込んでゆく。
「女性」と「男性」の「わかりあえなさ」を
「わかりあおう」とした先にあるものとは――。



『わかれとうはおもっているけど』2019年初演 BUKATSUDO HALL(横浜)

2019年にTPAM fringe作品として初演され、2022年フェスティバル・ドートンヌ公式プログラムとしてフランス・パリ日本文化会館にて上演した『わかれとうはおもっているけど』。

パリの観客から「妊娠という問題を通して、日本が抑圧的な社会構造を脱却できないことに疑問を投げかけている」「リアリズムと不条理の境界線で、現代日本に立ちはだかる家父長的規範をあぶり出している」など好評を博した贅沢貧乏のマスターピースを劇団初の国内ツアーとして東京・久留米・札幌で上演いたします。

観劇をご検討される方へ

本作品には、パートナー間の性暴力を想起させる描写がございます(直接的な描写はございません)。フラッシュバック等のご不安がある方には、戯曲データを事前にお送りいたします。ご希望のお客さまはお問い合わせください。また観劇にご不安がある方、途中退席しやすい通路側のお席を希望される方、そのほか必要なサポートがある方はzeitaku.binbou@gmail.comまでご相談ください。可能な限りスタッフがサポート・お手伝いいたします。

TOUR INFORMATION

東京 11.7 fri - 11.16 sun
東京芸術劇場 シアターイースト

久留米 12.6 sat, 12.7 sun
久留米シティプラザ Cボックス

札幌 12.13 sat, 12.14 sun
クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ3階)

STAFF

音楽: 金光佑実 美術: 中村友美 照明: 吉田一弥 音響: 星野大輔
衣裳: 藤谷香子・山口大樹 稽古進行: 中村未希 舞台監督: 湯山千景
収録: 須藤崇規 宣伝美術: 柴田リオ 宣伝写真: 川面健吾
プロデューサー: 堀朝美 企画制作: 贅沢貧乏 / 株式会社atation

贅沢貧乏
過去作品
オンライン
配信中!

贅沢貧乏の最新作
『おわるのをまっている』(2024年)ほか
過去作品Vimeoにて有料配信中。
ご自宅でじっくりお楽しみいただけます!
視聴方法: レンタル購入後7日間視聴可能です。



贅沢貧乏主宰・山田由梨による

“わかおも” 3 Tips



山田由梨
(作家・演出家・俳優)
Yuri Yamada

1992年東京生まれ。立教大学在学中に「贅沢貧乏」を旗揚げ。全作品の作・演出を務めるほか、ドラマ脚本・監督、小説・コラム執筆も手がける。『フィクション・シティー』(17年)、『ミクスチュア』(19年)で岸田國士戯曲賞ノミネート。セゾン文化財団セゾンフェロー。21年、23年、25年にかながわ短編演劇アワード 県内高校生選抜大会 審査員、25年にせんがわ劇場演劇コンクール 専門審査員を務める。主な担当ドラマに、Abema TV「17.3 about a sex」「30までにとるさくて」脚本、NHK夜ドラ「作りたい女と食べたい女」脚本。WOWOW「にんげんこわい」シリーズでは脚本・監督として参加。Podcast「山田由梨の眠れないなら茶をのんで」がSpotifyにて配信中。 Instagram @yamadayuri_v

この作品をつくろうと思ったきっかけは何ですか?

この脚本を書いた27歳当時、今後自分は妊娠・出産・子育てをする可能性があるのだからと考え始めた時、政治家による「女は産む機械」発言に現れるこの国に根付く女性蔑視や、日本のジェンダー格差が、今までよりも自分ごとと感じられたことがきっかけでした。そこから妊婦や母を神聖視することへの違和感や、妊娠出産にまつわる男女の不均衡に焦点を当て、自分の言葉で考え表現したいと思い作品を作りました。



About 贅沢貧乏

2012年旗揚げ、東京を拠点とする劇団。山田由梨が全作品の作・演出を務め、俳優の大竹このみ・田島ゆみか・青山祥子、制作の堀朝美の5名が所属。舞台と客席、現実と異世界、正常と狂気の境界線をシームレスに行き来しながら、現代の日本社会が抱える問題を奔放な想像力と多彩な手法でポップに浮かび上がらせる作風を特徴とする。2014年より一軒家やアパートを長期的に借りて創作・上演する「家プロジェクト(uchi-project)」の活動を展開。『みんなよるがこわい』(2015年初演)の中国版が中国全土を巡回。『わかれとうはおもっているけど』(2019年初演)が2022年フェスティバル・ドートンヌ公式プログラムとしてパリで上演されるなど国内外で活動の幅を広げている。

Instagram @zeitakubinbou

Z E I T A K U B I N B O U H I S T O R Y

2012 山田由梨20歳のときに一人芝居で旗揚げ。在学中から積極的に学外の劇場で公演活動を行う。

2014 大学卒業後、江東区の一軒家やアパートで「家プロジェクト(uchi-project)」を開始。二階建ての家の中を歩きまわって観劇する『ヘイセイ・アパートメント』で話題を呼ぶ。

2017 史上最年少で芸劇eyes単独公演に登場、『フィクション・シティー』を上演。岸田國士戯曲賞にノミネート。『みんなよるがこわい』で劇団初の海外ツアー。

2018 中国版『みんなよるがこわい』を創作・初演。以降2023年まで中国全土を巡回。

2019 『わかれとうはおもっているけど』『ミクスチュア』初演。

2022 『わかれとうはおもっているけど』パリ公演。コロナ禍で2度の中止延期を経て実現。全5公演が満席に!

2024 最新作『おわるのをまっている』をシアタートラムにて上演。

2025 『わかれとうはおもっているけど』で劇団初の国内ツアー!



『スーパーミラー』(2012年)
大学のお休みに一人芝居を上演!



『ヘイセイ・アパートメント』(2014年)
東京の下町で生きる女性2人の物語
アパートの1室での超至近距離演劇!



『フィクション・シティー』(2017年)
自然と切り離された人間中心世界へのアンチテーゼを描き
生まれた群像劇で初の公共劇場公演!



『みんなよるがこわい』(2017年)
眠れない夜の孤独をコミカルに描き
ツアー先の中国で連日満席に!



中国版『みんなよるがこわい』(2018年)
現地の俳優をオーディションして
ダブルキャストで上演!



『ミクスチュア』(2019年)
自然と切り離された人間中心世界へのアンチテーゼを描き
再び岸田國士戯曲賞ノミネート!



『おわるのをまっている』(2024年)
異国のホテルで繰り返される
“うつコメディ”で人間の「不調」を描く。

<https://zeitakubinbou.com/>



「200年後にはどうなるかな?」...なにを?

演劇でまなぶフェミニズムのやさしい入門書